＜校訓＞敬愛 自主 剛健

未来橋

令和5年12月12日発行
高浜町立高浜中学校

寒風を受けた樹々がはらはらと葉を落とし冬支度をするように、世の中の人の動きも何かと慌ただしい時期となります。令和5年も残すところあとわずかになりました。学校も2学期末を迎えますが、気持ちを落ち着かせ、学習のまとめをしっかりと積み上げていきたいと思っております。皆様にとって令和5年はどのような年だったでしょうか。学校では、様々な学校行事や生徒会活動、探究学習など、保護者や地域の方々のご理解とご支援のおかげで、今年も充実した教育活動を行うことができました。

本校では、生徒主体の活動を推進し、生徒が主体的な自己を確立する多様な活動を積極的に展開しています。生徒会活動では、生徒会執行部を中心に「With Smilis」と「One team」をテーマとして、全校生徒が一丸となって知恵を絞り、高中生としてやるべきことを追求し、挑戦し続けています。特に2学期には、高中祭（文化祭・体育祭）、合唱コンクールなどの学校行事において、生徒会や各委員会、各行事のリーダーが中心となり、主体的に活動する場面がたいへん多くみられました。また、新しい企画「Smiie Action」や「「One team大作戦」など生徒による自治活動が主体的に取り組まれるようになりました。高中生の可能性は無限です。高浜中学校をより良くしていこうとする高中生の企画力と行動力には目を見張るものがあります。

さらに、土曜日や日曜日には、『ハローボランティア』の活動として、地域のイベントにボランティアとして積極的に参加し、地域貢献活動に励む高中生の姿を毎週のように見ることができました。私たちは、そういった生徒たちを誇りに思っています。

また、生徒の自主性を育む探究学習「高浜未来創造プラン2023」では、地域の方々の力強いサポートを得ながら、高浜町の自然、環境、歴史文化、産業、伝統などの『人、もの、こと』にSDGsを関連づけた企画・提案型の探究学習に主体的に取り組んでいます。

このように子どもたちは、知恵を絞り、柔軟な発想で、変化する社会に対応する資質能力を身につけてきています。新たな変化に適応していく力は、これからの予測不能な未来社会をたくましく生きていくために必要な資質・能力です。子どもたちの様子を見ると、この1年間で学習面や生活面、社会性や精神面など様々なところで成長しているのがわかります。その健やかな成長ぶりは、見ていて清々しく、また、頼もしさも感じております。

高浜中学校の子どもたちの成長の陰には、保護者の皆様や地域の方々の支えがあったことを、私たちは肌で感じています。日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。そして、これからも引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

12月のハローボランティアの活動

『歳末助け合い募金』

『なかまっちひろば』

和の作法（茶道体験）【3年生】

先日、11月29日（水）と11月30日（木）に3年生の家庭科の授業で、和の作法「茶道体験」を行いました。講師の「高浜青松会」の方々のご指導のもと、本格的な茶道を経験することができました。授業では、立ち居振る舞いや礼儀作法、心得などを学ぶだけでなく、お茶をいただく席での文化に触れ、茶道の「楽しさ」と「奥深さ」を体感することができました。

「茶道」というと、難しい作法や決まり事があり、敷居の高いものと思われがちですが、実はそうではなく、日本の生活に根付いた「おもてなしの心」、そして、それを形にした「美の文化」であるいうことを生徒たちは学ばせていただきました。「心温かく和やかでいること」、「心清らかにいること」「相手を敬う心」など、慌ただしい日々の中に身を置いていると、ついつい忘れてしまいがちですが、実はとても大切なことです。生徒たちは、このような美しい心の持ち方に気づかされ、改めて自身を振り返る機会となりました。すばらしい体験をさせていただきありがとうございました。

English Camp

外国語講師（福井大学や名古屋大学の留学生）、外国人指導助手（ALT）と１泊２日の日程で英語で交流＜若狭湾青少年自然の家＞

1年生を対象に、「高浜型イングリッシュキャンプ」を行いました。このイングリッシュキャンプは、生徒が自発的に英語をアウトプットする環境を作り、様々なアクティビティを通して英語が伝わる喜びや英語で会話することの楽しさを体験することを目的としています。また、生きた英語を学べることも魅力の一つです。1年生は、いつも明るく元気な学年です。6～7人のグループで仲良く協力しながら、外国語講師と積極的にコミュニケーションをとり、楽しい2日間を過ごしました。このイングリッシュキャンプを通して学んだコミュニケーションの楽しさや、英語への興味関心を授業につなげてほしいと思います。

高浜町では、**イングリッシュキャンプ参加費補助金交付事業**として、国内で行われているイングリッシュキャンプに参加する町内在住の小学5年生から中学3年生に参加費用の補助（80％）をしていただいています。英語のコミュニケーション能力や国際感覚をさらに身につけたいと考えている人はチャンスです。是非この事業を積極的に利用してください。詳細については、右のQRコードをご覧下さい。

職場体験学習【2年生】

2年生が職場体験学習を実施しました。職場体験学習は、兵庫県で取り組んでいる「トライやる・ウィーク」が有名ですが、実は高浜では、その9年前に先駆けて取り組んでいました。この職場体験学習は、生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感することを目的として取り組んでいます。また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできるキャリア教育として重要な意味を持っています。この学習で得た学びや気づきを今後の生活や進路実現に役立ててほしいと思っています。たいへんお忙しい中、職場体験学習の趣旨をご理解いただき、貴重な機会をいただきました事業所や地域の方々に心から感謝申し上げます。

親子で学ぶPTA講演会 『ネット・スマホの長時間接触による健康被害』

11月11日（土）に、「親子で学ぶPTA講演会」を行いました。講師に、青森大学客員教授の大谷良光氏をお招きし、「ネット・スマホの長時間接触による脳や体の健康被害」について、医学者の警鐘を踏まえ、発達阻害や健康被害とネット利用との相関関連、そして、その予防策についてわかりやすく説明していただきました。

ネット・スマホの長時間接触による健康問題として、集中力・思考力・記憶力の低下、前頭前野の機能低下、海馬の未発達による記憶低下、ストレスによる慢性疲労、学力低下などが明らかにされつつあります。

ネット・スマホの長時間利用にならないために自己管理能力・判断力などが大切ですが、まずは、ネット・スマホ利用を振り返り、家庭でのルールづくりから始めてほしいと思います。多くの保護者の皆様に参加していただきありがとうございました。

探究学習『高浜未来創造プラン』の活動状況を『探究だより』で情報共有をしています。一部紹介します。詳しくは、ブログをご覧ください。

高浜町の薬草

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

「高浜未来創造プラン」で、「高浜町の薬草」をテーマとして探究活動を行っている2年生チームが、九州保健福祉大学薬学部の渥美准教授と同大学薬学部学生の外園さん、青葉山麓研究所の松宮所長、高浜町地域おこし協力隊の東さんの4名をお招きし、七味唐辛子作りのワークショップを行いました。2年生探究チームは、これまでも青葉山麓研究所松宮所長の協力のもと、紫蘇収穫を体験したり、収穫した紫蘇を使ってゼリーやジャムの試作品を行ったりしてきました。今回は、高浜町で栽培している薬草「紫蘇」を七味唐辛子の薬味として使用できないかと模索し、松宮所長の紹介で九州保健福祉大学から渥美先生をお招きしワークショップを行いました。

ワークショップでは、七味唐辛子の日本のスパイス文化や原料となる紫蘇や胡麻等の味や香り、効能効果などを学び、その後、生徒自身でオリジナル七味の調合を行いました。今後は、シソゼリー試食会のワークショップをマルシェで開催します。商品開発「七味唐辛子」では、高浜産の紫蘇に加え、天然わかめを使用できないかを探り、高浜オリジナル七味の商品化を目指します。

高浜ならではの「Pizza」を発信しよう

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

高浜について広く知ってもらうために、高浜町で生産量が増えてきているトマトに着目し、トマトを使った新たな特産品に挑戦している1年生チームの活動紹介をします。

アプローチとして、まず、永野農園とハーバルビレッジに出向き、聞き取り調査を行いました。そこで、トマト農家の永野さんからトマトの魅力について詳しく教えていただきました。また、ハーバルビレッジの東さんからは、ピザソースとして使えるバジルやオレガノの育て方を教えてもらいました。次に、いただいたバジルとオレガノを自分たちで育ててみました。そして、永野さんのトマトと自分たちで育てたバジルとオレガノを使ってピザソースを作りました。何度も試行錯誤を繰り返し、オリジナルのピザソースを開発しました。そこで、高浜町でおいしいピザで有名な「Lefty's New York Pizza」の高田さんにご協力いただき、ピザの試作品を作っていただきました。とてもおいしいピザができたので、何とか商品化へと考え、試行錯誤を繰り返しています。高浜町のトマトが今よりももっともっと有名になればいいなあと考えています。

和田 de 灯音祭 ～灯りと音の祭典～

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

9月23日(土)に「灯り」と「音」の祭典、「灯音祭」が和田公民館で行われました。この祭典は、高浜中学生が総合学習の時間に取り組んでいる「探究学習〈高浜未来創造プラン〉」で、路地祭に代わるイベントとして提案したものです。和田地区の有志のみなさんの力で中学生の立てたプランを実現していただくことになりました。有志の皆さんの地域に対する熱い思いと地元愛、そして中学生に対する温かい愛情と期待を肌で感じています。本当にありがとうございました。

当日の昼の部は、地域で活躍されている方々の音楽やダンスが披露されました。本校の吹奏楽部や地域のクラブで活動しているダンスチームも出演しました。また、1年生と3年生の探究チームも探究学習で取り組んでいる「海洋プラスチックゴミを再利用したランタンシェード作り」の体験ブースで参加をしました。

夜の部は、生徒たちと当日の参加者が制作したランタンシェードや事前に地域の方々と制作した竹灯りなどが点灯されました。神秘的な灯りと音楽で、会場内は幻想的な雰囲気に包まれ、訪れた人の心を癒やしていました。来年も今年以上に盛り上げていきたいと意気込んでいます。和田公民館の館長さんをはじめ和田地区の有志の皆さん、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。

プログラミング〈ゲーム開発〉
高浜町をPRするゲーム

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

11月26日(日)に舞鶴赤れんがパークで「プログラミングコンテスト本選」が行われました。予選を通過した3年生の2チームは、予選通過後も開発した作品(ゲーム)をさらにブラッシュアップし、プレゼンテーションをしました。そして【ゲーム開発部門】で、見事「優秀賞」と「敢闘賞」を受賞しました。おめでとうございます。

このように探究学習「高浜未来創造プラン」で、生徒たちが自ら問いを立て、その課題解決につながる活動に取り組んでいます。どの学年も意欲的に活動しており、様々な分野で高中生が活躍をしています。

プログラミングコンテスト本選
見事！「優秀賞」「敢闘賞」受賞

碎導山城址の魅力をPRしよう

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

探究学習「高浜未来創造プラン」で町内でもあまり知られていなかった県内最大級の山城「碎導山城」を多くに人に知ってもらうために、散策ルートの整備(登山用ロープの設営やサインテープ貼り)や案内看板作り、休憩用のベンチ制作、紹介動画やポスターの作成、碎導山城探訪ツアーの企画とツアーガイド、逸見昌経氏のイメージキャラクターの制作など様々な活動を行ってきました。今春には、そのキャラクターが碎導山城跡ののぼりや春の限定版の御城印に採用されました。生徒たちの取組が評価され，保存会の方々のサポートを受けて実現されてきており、碎導山城跡に来城される方が増えてきています。

本日は、、碎導山城保存会の方々がイメージキャラクターを用いたグッズを制作し、3年生にプレゼントしていただきました。

現在、3年生は碎導山城跡の案内動画を制作しています。そして来城された方がQRコードから、遺構の紹介や説明動画が見られるようにして、より楽しく碎導山城跡を散策できるように活動を進めています。

「御乗印×御城印」全部集めると一枚絵に
福井県など12月24日までキャンペーンも

現在、JR小浜線で小浜線の福井県嶺南6市町の駅で乗車記念となる「御乗印」と、その地域の山城の「御城印」がセットとなった「御乗印×御城印」(6種類)がもらえるキャンペーンが行われています。

組み合わせは、敦賀駅と金ケ崎城、美浜駅と国吉城、上中駅と熊川城、小浜駅と後瀬山城、若狭本郷駅と石山城、若狭高浜駅と碎導山城の6種類です。各市町の指定場所を訪れ「城印」を押印すると完成します。ぜひ、挑戦してみてください。

公民館講座　ハーブを使った商品開発

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

高浜の薬草・ハーブを使った商品開発をテーマに取り組む3年生チームの活動の様子を紹介します。

高浜町は、「自然が豊かでありながら、その自然を活用した特産品が少ない。」「薬草事業に積極的に取り組んでいるが、町民も薬草やハーブについて詳しく知っている人がいない。」などといった課題があります。そこで、もっと広く高浜町が取り組んでいる薬草事業について知ってもらいたいと考え、探究学習の上記の課題を設定をしました。

この課題を解決していくために、青葉山麓研究所やハーバルビレッジの協力を得て、高浜町で栽培・加工・販売をしている青葉山のハーブや薬草について調べ、現状把握を行いました。そこで、町民のみなさんにハーブのことを知ってもらう方法について考え、まとめ、提案したいと考えました。

まず、青葉山麓研究所の松宮さんに、青葉山で採取できるハーブや薬草と事業の課題についてお聞きしました。そして、「高浜の薬草」をテーマに取り組んでいる2年生チームと共同で紫蘇の採取を体験し、さらに紫蘇を使った食品の開発についても検討しました。

このように薬草を使った商品開発や身近な生活用品を模索する中、青葉山麓研究所・ハーバルビレッジの方に石けんの作り方を教えていただく機会を得ました。そこで、ハーブを使った石けんづくりに挑戦することにしました。

実際にハーブを使った石鹸をつくり、調合の仕方やハーブについてまとめ、パンフレットを作成しました。そして高浜公民館のご協力を得て、公民館講座「ハーブ石けん作り体験」を企画し、11月25日(土)に石けん作り体験を開催しました。その活動の様子を紹介します。

内浦レモンでドレッシングを作ろう

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

高浜町内浦地区でおいしいレモンを栽培しているところがあることを知り、内浦レモンをもっと有名にするためにレモンを使って商品開発をしたいと考えました。一番大事な課題は、どれだけレモンの風味を出して美味しいドレッシングを作れるかです。

これを実現するために、まずは、レモン農家さんを訪ね、作業の手伝いをしました、そこで、レモンの種類や効能、栽培方法、そして、レモンを使って商品開発をされている株式会社「エルローズ」から、自社で作っている商品の説明を聞きました。その時の商品開発についての話は、今後の探究学習を進める上で、とても参考になりました。

その後、自分たちでドレッシングの作り方について調べ、何度も何度も調理し、試行錯誤を繰り返しました。そして、自分たちで試作品のドレッシングで、どれが一番美味しいか検討を重ねてきました。そして、ついに、なんと、とってもおいしい『胡麻レモンドレッシング』ができあがりました。

今後、レシピ作成や商品として扱っている方々に発信し、多くの方に食べていただけるように模索していきたいと考えています。みなさん、お楽しみに！！

いよいよ、完成間近？　胡麻レモン!!ドレッシング

フリーマーケット古着市
ワークショップ「くるみボタンづくり」

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

11月26日(日)には、「衣類のアップサイクル」をテーマに取り組んでいる3年生チームが、箱庭市(瑞祥苑)で、「フリーマーケット古着市」とワークショップ「くるみボタンづくり」を行いました。生徒たちが寄付で集めた衣服をフリーケットで販売し、ユニセフに募金をしたり、UNIQLO古着プロジェクトへ寄付をしたりします。また、アップサイクルの取組として、衣服の端切れを用いた「くるみボタン」のワークショップも行いました。

ターゲット（テーマ設定の理由、現状、課題）
ごみ削減問題は、日本全国で取り組むべき課題で、高浜町でも月によって増加することがある。ごみの量を少しでも減らすために、イベントでフリーマーケットを開き、集めた服やアップサイクルしたものを販売することで、ゴミ削減に貢献したい。また、イベントでアップサイクル教室を開催して、アップサイクルについて知ってもらいたい。高浜町のいろんな世代の人々が訪れ、笑顔になったり、新しい学びを得たりすることができるイベントについてまとめ、提案したい。

アプローチ（課題解決に向けた提案、取組・方策）
イベントの企画、運営の計画をする。まちづくりネットワークの山本さんにお話を聞き、　フリーマーケットをするために必要な知識を得る。ポスターや収集箱を置き、古着を集める。集めた服をエコバックなどにアップサイクルする。フリーマーケットに参加し、販売をする。また、アップサイクル教室を開催して売上金を寄付する。